

from Taiwan.

台湾・国立清華大学経済学部 2 年生

## インターン受け入れ報告 ニイニイ (吳以霓 I-Ni Wu) さん

7 月 21 日～9 月 15 日の 8 週間、台湾の国立清華大学経済学部 2 年生の吳以霓 (I-Ni Wu) さん (ニイニイさん) を、インターンとして受け入れをしました。AWEP のウェブサイトを見たニイニイさんから直接インターン希望の連絡があり、Zoom での面談を経て、受け入れが決まりました。ニイニイさんは、海外事業・国内事業とあらゆる活動に積極的に参加してください、私たちが彼女から多くを学びました。いつもニコニコおおらかで明るい空気をまとったニイニイさん。あっという間の 8 週間でした。ニイニイさん、いつでも AWEP に戻ってきてくださいね！

## ニイニイさんのコメントより

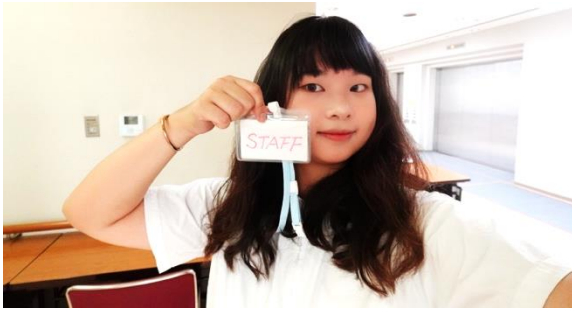
Working at AWEP this summer, I joined the product innovation discussion meeting. I am looking forward to developing new products in addition to the ones I have been selling to stimulate shopping. I want to develop new products from a shopper's point of view. At the same time, I hope to bring some new ideas and changes to AWEP, and to exchange ideas, from the color of the products, and specifications, to cost considerations. The overall planning requires time and endurance and actually challenges my non-professional limitations. But I enjoy it very much! In addition, my colleagues and I also go out to visit NPO organizations to collaborate and expand the visibility of our products. At the same time, we also discussed how to make information about women's lives circulate more quickly. At the same time, I have also participated in seminars, consultation meetings, membership card design, YouTube video recording, photo organizing, Taiwan-Japan Newspaper, and other work, and in the design of the membership card, I hope to recruit more members for AWEP, bring more power, and strengthen women's ability and vision enhancement.

What makes me happiest is that I have the privilege to join the Kobe Prefecture's foreigner assistance program. In this program, I also participated in the Women's Harassment and Counseling Program. This program is a collaboration of Japanese society, not only with the government but also with many social and public welfare organizations. I hope that through various channels, not only local people can be cared for, but also foreigners in Japan can receive the humanitarian and human rights assistance they deserve.

I really admire the efficiency of the Japanese, who always arrive early and leave late. They work efficiently without wasting any time. Whether they are dealing with female newcomers or visiting them, they are always smiling and sincere. NGO work requires a high level of enthusiasm to last a long time, and what surprises me, even more, is that most of them are already senior staff with more than ten years of experience, and I admire their dedication to their work very much.

As I have been with AWEP for a long time, I have come to appreciate each and every detail of the work. Being able to be personally involved in helping the women is something that makes me very happy from the bottom of my heart. Behind each woman is a family, and each family's story is one of cruelty and injustice that I did not anticipate. It's hard to imagine the courage it takes for them to leave their home country and live in a foreign land with a different culture. In addition to companionship and counseling, they need professional legal knowledge to protect themselves and their children. There is still a long way to go for gender equality, and we need to pay more attention and care to realize the future of women.

Lastly, I also think that in a modernized society, a large amount of social care should be invested not only to help the victims get their fair rights and interests through the law but also to rebuild their psychological well-being and return to society. An advanced society should not only be concerned about its own people but should also allow people living in the same land to help each other. I am deeply impressed by the professionalism of every member of the office. In addition to their dedication to their work, I am also touched by their tolerance and broad outlook on life. It is my honor to be part of AWEP. I would like to thank all my colleagues in the office and those who have accompanied me in Kobe. Thank you for being with me, because you have made me fall in love with Kobe and AWEP, Nini would like to take a bow out here, thank you everyone again, and look forward to seeing everyone again.



この夏、私は AWEP で製品開発に参画しました。これまで販売してきた商品に加えて、購買を促進する買い物の客の視点に立った新商品の開発も求められます。同時に、製品の色や仕様、コスト面など、開発には時間と忍耐が必要で、専門家ではない私には難しい挑戦でした。でも、とても楽しかったです！また、外国人女性に向けたより迅速な情報発信についての議論、セミナーや相談会への参加、会員証のデザイン、YouTube 動画撮影、写真整理など多くの業務をおこないました。より多くの方が AWEP 会員となり、女性のもつ能力と視野を広げる力となってもらえたらと思います。

一番嬉しかったのは、神戸市の支援事業、女性のための相談プログラムに参加させていただいたことです。行政だけでなく多くの支援団体の協力によるものでした。さまざまなルートを通じて、地元市民だけでなく、日本にいる外国人にも人道的・人権的支援が届くことを望みます。

私は、いつも早く出勤し、遅くまで働く日本人に本当に感謝します。時間を無駄にすることなく効率的に作業を進め、相談者に対していつも笑顔で誠実な対応をしています。NGO の仕事は、長く続けるためには強い熱意が必要です。ほとんどがすでに 10 年以上の経験を持つベテランのスタッフであることに驚きました。彼らの仕事に対する献身的な姿勢を尊敬します。

私は AWEP での仕事の一つ一つに感謝し、女性支援に携わること心から嬉しく思いました。それぞれの女性の背景には家族があり、その家族の物語は、私が予想していなかった残酷さと不正義の物語がありました。彼らが母国を離れ、文化の異なる異国の地で暮らすのにどれほどの勇気が必要か、想像に絶するものがあります。寄り添い、話を聞くことに加えて、専門的な法的知識も必要です。男女平等への道のりはまだ長く、私たちは女性の未来を実現するために注意深く配慮する必要があると感じました。

最後に、現代社会においては、被害者が法律を通じて公正な権利や利益を獲得できるよう支援するだけでなく、精神的な健康を取り戻し、社会復帰するためにも、多大な社会的ケアが用意されるべきだと考えます。先進社会は自国民のことだけを考えるべきではなく、同じ土地に住む人々が互いに助け合うことを認めるべきです。

AWEP メンバー全員のプロ意識に深く感銘を受けました。仕事への献身に加え、寛容さと広い人生観にも感動しています。AWEP の一員になれることを光栄に思います。事務所スタッフ、神戸で出会ったすべての方々に感謝します。一緒に過ごしてくださいありがとうございます。私、ニイニイを神戸と AWEP に夢中にさせてくれた皆さんに、改めてお礼申し上げます。またお会いできることを楽しみにしています。(訳 鋤柄利佳)

## ボランティア紹介



## 渡辺 優 (Yuki) さん

11 月からボランティアとして関わらせていただいている渡辺優 (Yuki) と申します。フリーランスで広報やコミュニケーション戦略のお仕事をしています。埼玉県出身ですが、神戸に暮らし始めて 2 年目。学生時代のフィールドワークやお仕事で住んだことのあるフィリピンが大好きで、神戸でも関われるかたちはないかと調べていたところ AWEP さんを見つけました。私自身、留学や仕事を異国の地ですることの大変さにぶち当たってきたと同時に、その地の方々に助けられ、笑顔にしてみたら経験もたくさんしてきました。海外から日本に来て暮らしている方々の苦労はもちろん、醍醐味も一緒に共有させていただけたらと思っています。タガログ語の響きが大好きで、メンバーの方々の会話を聞いているだけで、わくわくしています。フィリピン料理も大好きです。まだ始めたばかりで何がお役に立てるか模索中ですが、よろしく願い致します。

## 神戸常盤女子高等学校の生徒さんのフェアトレードの学びと実践



2023 年 6 月から 10 月にかけて、同高の生徒さんのみなさんが、4 回にわたってオープンスクールや文化祭等で AWEP のフェアトレード製品の販売をしてくださいました。販売に先立ち、アジアの女性の人権問題とフェアトレードの考え方、AWEP のフェアトレードスタイルなどを奈良からお話しし、生徒のみなさんは大いに関心を深めてくれました。事前のこうした学習を踏まえ、作り手の方々の紹介や社会背景の説明、価格カードなどを手作りし、販売に臨んでくださいました。

生徒のみなさんからいただいた感想文では「今回がきっかけでこういう国際的なことにも興味を持つことができました」「授業で商品を実際に手ににとって選んで、売るという普通ではできないような経験をすることができた」「販売をきっかけにフェアトレードという文字が目がいくなってきたし、同じ商品でひとつがフェアトレード商品ならそっちの方を選びたい」などうれしい声をいただき、AWEP のボランティアもスタッフもとてもうれしい気持ちになりました。私たちの活動で国際的な社会問題や女性の人権などに関心を深めてくれる若い世代が増やすのも AWEP の役割だと改めて思いました。(奈良雅美)

## 「おしゃべりのつどい」活動報告と 1 月の予定

孤立しがちな外国人女性が気軽に集える場をとの思いで続けている「おしゃべりのつどい」。  
月に 1 回、最終土曜日の午後で開催しています。

9 月

9 月 30 日は、特別企画「フィリピンカフェ」を開催しました。フィリピン出身のお二人が講師となり、フィリピンのメリエンダ (スナック) 文化を紹介し、本場の材料を使ったトゥロン (バナナの春巻き) とパリトー (ココナッツとゴマのお餅) を作りました。



10 月

10 月はハロウィン。自分で作ったバッグにたくさんのお菓子を詰めて、子どもたちは大喜びでした。



11 月

11 月は、振付師サラさん指導のもと、参加者全員でフィリピンダンスを楽しみました。



1 月

1 月は「防災クッキング」



の企画を予定しています。

みなさんのご参加をお待ちしています。(鋤柄利佳)

AWEP に  
こんな形で  
参加できます

寄付をする  
いくらからでも  
寄付いただけます。  
(所得税の控除対象には  
なりません。)

会員になる  
運営会員 6000 円/個人  
賛助会員 3000 円/個人・団体  
AWEP の情報をいち早く  
キャッチ！活動を支えます。

イベントに参加する  
活動報告会、社会貢献パーティ、  
フェアトレード製品の展示会等、  
色々なイベントがあります。

ボランティアする  
事務所やイベント販売での  
ボランティアを随時  
募集しています。